



2020・5.24
第1662号

日本共産党
宮古地区委員会
市内宮町4-6-49
電話62-5808
FAX 62-3897
しんぶん赤旗
日刊紙3497円
日曜版 930円

コロナ対策第二次補正予算可決 財調基金等で累計64億円規模

20日、宮古市は新型コロナウイルス対策等予算や条例を市議会に提案、予算特別委員会では全会一致で可決され、25日の本会議で最終決定されます。



感染防止へ、マスク着用で臨時議会

輸送業者に事業継続を支援します。市内宿泊施設利用者に5000円を上限に宿泊費の半額を助成します。また、市は独自支援策として県内他市町村からの利用者も対象にしているのが特色です。

検査センター設置

第一次補正の際、休日・急患診療所を「発熱外来センター」に整備する診療所費2500万円は今回見直され、予算組み換えで「地域外来検査センター」事業に変わります。

地域内経済循環へ

プレミアム商品券事業7850万円は小売業など地域商店街の支援策ですが、直近の類似事業は全国の傾向と同じように市内でも発行額に対する実績は約4割にとどま

宿泊施設緊急支援

影響の大きな宿泊施設やタクシー等観光関連運

日・急患診療所の受託業者、抗体検査業務950万円の委託先は関東地域の検査センターに単価1万7600円で委託する。センターの建物はテナトリースで8月までの3か月間と説明されました。

就学継続も支援

大学生等就学支援事業5040万円はコロナの影響で就学継続が困難な自宅以外でくらす大学生に一律5万円を支給するもので、その他にも宮古産米や菓子など、特産品等活用学生支援事業1295万円は宮古市出身の

Q&A

診断書の提出を延長

【高橋千鶴子衆院議員】

①障害年金、②難病患者の医療費助成、③自立支援医療など公費負担医療、④身体障害者手帳及び療育手帳、⑤精神障害者保健福祉手帳、⑥特別児童扶養手当等の認定、更新に必要な診断書の扱いで令和2年2月末から令和3年2月末までに期限が到来する方の提出期限を1年間延長するとの理解でよいのか。

学生に特産品を送る計画となつています。

緊急小口と総合支援資金 県社協で生活資金特例貸付

岩手県社会福祉協議会では3月から新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等で、生活資金に困っている方々を対象に無利子・無保証人で生活資金特例貸付(コロナ資金)を行っています。

内容は、「緊急小口資金(1世帯10万円、事情により20万円)」と「総合支援資金(単身者月15万円以内、2人以上月20万円以内)」の2種類で、申込み窓口は市の社会福祉協議会です。

本人確認に2種類の書類

申請には運転免許証と住民票など本人が確認できる二つの書類と通帳かキャッ

シュカードが必要で、「小口」の返済期間は1年据え置き2か年以内です。「総合」は3か月ごとの返済で据え置き1年、10年以内となります。

返済不要の場合もあり

生活福祉資金(緊急小口資金)は緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯が対象です。総合資金は減収・失業等により生活の維持が困難な世帯を対象としており、貸付より3か月が経過しても減収・失業状態が続いていた場合には返済不要となる場合もあり、生活の維持・再建に積極的な利用が望まれます。

火魚

20日付けしんぶん赤旗日刊紙「読者の文芸」欄に「アベノ辞典」と題する詩が掲載された▼森友事件以降、新型コロナまで安倍政権の対応を風刺した内容。結論が分かりやすい。「アベノマスクは2枚、アベノ舌も2枚」で終わる▼質問に答えず、自説を長々言い、自席から野次る等々。総理の品格が問われても、政権支持の底堅さには呆れていた。だが、検査官の定年延長問題は違った▼それは安倍政権の「終わりの始まり」でもある。次期検事総長就任を可能にする東京高検検事長、黒川弘務氏の定年延長。検察庁法違反・違法な閣議決定だった▼キョンキョンこと小泉今日子さんや芸能人などが「#検察庁法改正に抗議します」とネットに情報発信。支持率も急落。元検事総長も反対を表明。みんなで声を上げれば政治は変わる。

